

ごんごネット「ユーザーツール」利用マニュアル

2015年4月9日作成

はじめに

本マニュアルはごんごネット「ユーザーツール」を使用したメールやウェブの情報確認と設定変更を行うための説明書です。

目次

ログイン方法.....	4
ログアウト方法.....	5
基本画面構成.....	6
メールサービス.....	7
メールサービス画面構成.....	8
アカウント詳細/設定.....	8
迷惑メールフィルターとユーザーフィルター.....	9
迷惑メールフィルター.....	10
フィルター強度の設定.....	10
ブラックリスト/ホワイトリスト.....	11
ユーザーフィルター設定.....	15
新規フィルターの追加.....	15
ユーザーフィルターの適用順の変更.....	22
ユーザーフィルターの編集と削除.....	22
Myホームページ.....	23
Myホームページ画面構成.....	23
アカウント詳細/設定.....	24
アクセスカウンター設定.....	25
フォームメール.....	27

ログイン方法

(1) Webブラウザで「<https://sign.tvt.ne.jp/>」を開きます。

(2)画面が開きましたら、発行済みの「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、[ログインする]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'UserTool ログイン画面' (UserTool Login Screen). At the top, there is a blue header with the text 'UserTool ログイン画面'. Below the header, there is a instruction: 「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、「ログインする」ボタンをクリックしてください。 (Please enter your email address and password, and click the 'Login' button). The form contains two input fields: 'メールアドレス:' (Email Address) with the value 'gongo@mx1.tvt.ne.jp' and 'パスワード:' (Password) with masked characters '●●●●●●●●'. Below the input fields is a button labeled 'ログインする' (Login).

ログインに失敗した場合は下記のエラー画面が表示されます。
正しい「メールアドレス」と「パスワード」を入力し、ログインを行います。

The screenshot shows the 'UserTool ログイン画面' (UserTool Login Screen) with a failed login attempt. The header and instruction are the same as in the previous screenshot. The input fields for 'メールアドレス:' (Email Address) and 'パスワード:' (Password) are highlighted with a red border. Below the password field, there is an error message: 正しいユーザー名またはパスワードを入力してください。 (Please enter the correct user name or password). The 'ログインする' (Login) button is also highlighted with a red border.

「メールアドレス」は大文字と小文字を区別しませんが「パスワード」は大文字と小文字を区別しますので、ご注意ください。

ユーザーツールにログインできるのはメインのメールアドレスのみです。複数のメールアドレスをご契約で追加のメールアドレスを入力してもログインできませんのでご注意ください。

ログアウト方法

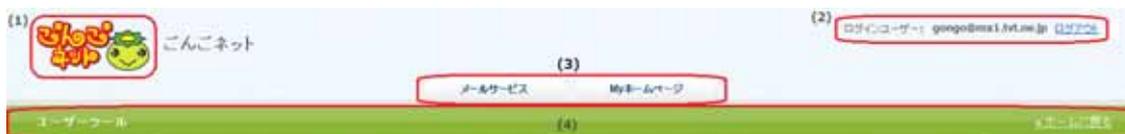
(1)ユーザーツールからログアウトするには、画面右上の「ログアウト」をクリックします。



(2)ログアウトが完了すると、ログイン画面が表示されます。

基本画面構成

ユーザーツール画面は、以下の4つの部分から構成されています。



(1)	ロゴ表示	クリックするとホーム画面に戻ります。
(2)	メールアドレス	ログイン中のメールアドレスが表示されます。
	ログアウトボタン	クリックするとユーザーツールからログアウトします。
(3)	サービスタブ	各サービスのアカウント管理画面の切替を行うタブです。
(4)	階層表示エリア	現在開いている階層が表示されます。 例) メールサービス設定画面を表示している場合。 ユーザーツール > メールサービス アンダーラインが付いている階層はリンクが貼られていますので、1階層上にも簡単に移動できます。
	ホームに戻る	ホームに戻るボタンです。クリックすることでTOP画面が表示されます。

メールサービス

「メールサービス」タブをクリックする事でご契約メールアドレスの一覧画面が表示されます。

メールサービス画面構成

メールアドレス一覧

メールアドレス	タイプ	区分	状態	容量	使用量	使用率	転送先メールアドレス	登録日	操作
gongo@mx1.tvt.sc-demo.jp	mailbox	メイン	有効	1GB		<input type="text" value="0%"/>		2015-03-18 16:41:57	<input type="button" value="編集する"/>
gongon@mx1.tvt.sc-demo.jp	mailbox	追加	有効	1GB		<input type="text" value="0%"/>		2015-03-18 16:45:07	<input type="button" value="編集する"/>

1件 - 2件 / 全2件

メールアドレス	設定変更可能なアドレスが表示されます。 複数メールアドレスをご契約の場合は複数行表示されます。
タイプ	メールアドレスのタイプが表示されます。 ご契約のメールアドレスは「mailbox」となります。
区分	「メイン」と「追加」の2種類があります。 メイン：ご契約の最初に割り当てられたメールアドレス 追加：追加のメールアドレス
状態	「有効」と「停止中」の2種類があります。 通常は「有効」が表示されます。
容量	メールボックスの総容量サイズが表示されます。
使用量	現在のメールボックスの使用量が表示されます。
使用率	現在のメールボックスの使用率が%で表示されます。
転送先メールアドレス (未使用)	ごんごメール転送設定はユーザーフィルターで行いますので、 ここでの表示はありません。
登録日	アカウントの登録日時が表示されます。
操作	[編集する]ボタンを押すと、メールアカウントの設定の確認や 変更画面が表示されます。

アカウント詳細/設定

(1) 設定の確認や変更を行いたいメールアドレスの[編集する]ボタンをクリックします。

メールアドレス	タイプ	区分	状態	容量	使用量	使用率	転送先メールアドレス	登録日	操作
gongo@mx1.tvt.sc-demo.jp	mailbox	メイン	有効	1GB		<input type="text" value="0%"/>		2015-03-18 16:41:57	編集する

(2) 「アカウント詳細/設定」画面は、以下の4つの部分から構成されています。

The screenshot shows the 'アカウント詳細/設定' (Account Details/Settings) page for the user 'gongo@mx1.tvt.sc-demo.jp'. The page is divided into several sections. The first section, labeled (1), contains the mailbox details: メールアドレス (gongo@mx1.tvt.sc-demo.jp), タイプ (mailbox), 区分 (メイン), メールボックス容量 (1GB), フィルタータイプ (高級版フィルター), 使用量 (0KB), 使用率 (0%), and メール数 (1通). The second section, labeled (2), is for '迷惑メールフィルター' (Spam Mail Filter) with an ON/OFF toggle. The third section, labeled (3), is for 'ユーザーフィルター' (User Filter) with a note that no rules are currently set and a button to '新規フィルターの追加' (Add New Filter). The fourth section, labeled (4), contains the '保存する' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

(1)	現在の操作対象のメールアドレスが表示されます。
(2)	迷惑メールフィルターの設定項目です。
(3)	ONにすることで、フィルター強度、ブラックリスト、ホワイトリストの設定項目が表示されます。
(4)	ユーザーフィルターの設定項目です。 受信メールの仕分けルールを任意の条件で設定する事が可能です。 [新規フィルターの追加]ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
(5)	[保存する]ボタン：設定した条件を保存する際に使用します。 [キャンセル]ボタン：設定した条件を保存しない場合に使用します。

迷惑メールフィルターとユーザーフィルター

ごんごネットメールは、迷惑メールを遮断する「迷惑メールフィルター」と受信するメールの内容によって転送やフォルダ振り分けなどを行う「ユーザーフィルター」の2種類のフィルターを装備しています。



迷惑メールフィルター	フィルターのON/OFF切替と、フィルター強度設定(15段階)やブラックリスト、ホワイトリストの設定が可能です。
ユーザーフィルター	受信したメールの送信者や件名、サイズなど詳細な条件を指定し、転送、バケーションメールの他に移動、コピー、破棄、削除など多彩な処理が設定可能です。また、複合条件や処理を行う時間を設定する事も可能です。

迷惑メールフィルター

迷惑メールフィルターでは、フィルターの強度設定(15段階)、ブラックリスト/ホワイトリストの作成が可能です。

下記の条件に合致したメールが迷惑メールフォルダに格納されます。

- ・ブラックリストに設定されている条件に合致している
- ・メールヘッダの「X-Spam-Status」のscoreが設定したフィルター強度以上の場合

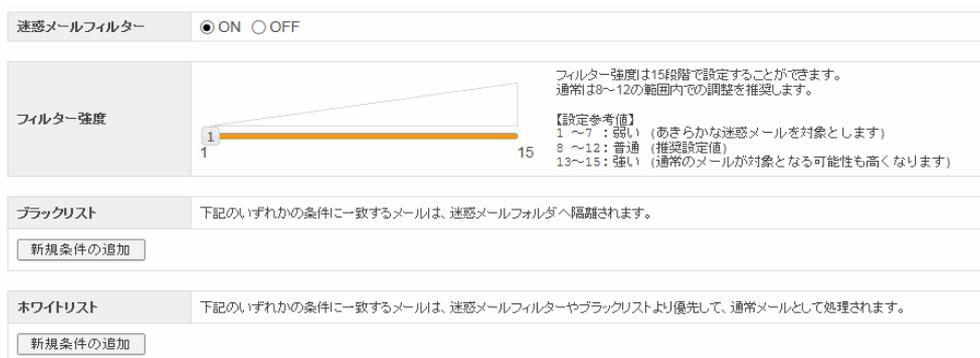
フィルター強度の設定

フィルター強度は「フィルター強度」欄にあるスライダーを左右にドラッグして調整します。調整できる範囲は最弱(X-Spam-StatusのScoreが15以上)～最強(Scoreが1以上)になります。設定強度以上のScoreのメールを受信した場合に迷惑メールフォルダにメールが格納されます。

(1)迷惑メールフィルターの項目のONにチェックを入れます。

迷惑メールフィルター ON OFF

迷惑メールフィルターのチェックボックスを「ON」にすると、「フィルター強度」および「ブラックリスト」、「ホワイトリスト」の設定画面が表示されます。

迷惑メールフィルター ON OFF
フィルター強度
フィルター強度は15段階で設定することができます。通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。
【設定参考値】
1～7：弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします)
8～12：普通 (推奨設定値)
13～15：強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)
ブラックリスト
下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。
新規条件の追加
ホワイトリスト
下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。
新規条件の追加

(2)フィルター強度欄にある、スライダーを任意の場所にドラッグ操作で調整します。弱(Score15)～強(Score1)の15段階で設定が可能です。

初期設定は、最弱(一番左)となっております。

フィルター強度
弱 強

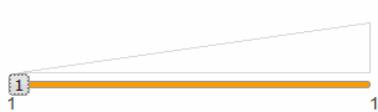
最強設定にした場合、通常のメールもSPAMとして判定される可能性がある為、あわせてホワイトリスト機能も設定していただく事をお勧めします。

(3)設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

ブラックリスト/ホワイトリスト

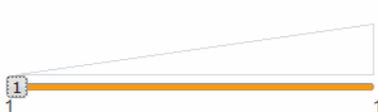
それぞれ、受信拒否 / 許可の設定を行う機能になります。
ブラックリストに登録した条件を満たすメールは迷惑メールフォルダ、ホワイトリストに登録した条件を満たすメールは受信トレイフォルダに移動します。

ブラックリストとホワイトリストで重複した条件が設定されている場合は、
ホワイトリストのルールが優先されます。

迷惑メールフィルター	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
フィルター強度	 <p>フィルター強度は15段階で設定することができます。 通常は8~12の範囲内での調整を推奨します。</p> <p>【設定参考値】 1 ~7 : 弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします) 8 ~12 : 普通 (推奨設定値) 13~15 : 強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)</p>
ブラックリスト	下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。 <input type="button" value="新規条件の追加"/>
ホワイトリスト	下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。 <input type="button" value="新規条件の追加"/>

ブラックリスト/ホワイトリストの設定方法

(1)迷惑メールフィルターの項目のONにチェックを入れ、
ブラックリスト、またはホワイトリストの項目にある、[新規条件の追加]ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
フィルター強度	 <p>フィルター強度は15段階で設定することができます。 通常は8~12の範囲内での調整を推奨します。</p> <p>【設定参考値】 1 ~7 : 弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします) 8 ~12 : 普通 (推奨設定値) 13~15 : 強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)</p>
ブラックリスト	下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。 <input type="button" value="新規条件の追加"/>
ホワイトリスト	下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフィルターやブラックリストより優先して、通常メールとして処理されます。 <input type="button" value="新規条件の追加"/>

(2)設定画面で条件を設定します。新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]ボタン、条件を削除する場合は、[条件の削除]ボタンをクリックします。

ブラックリスト 下記のいずれかの条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

送信者(from)が		を含む	条件の削除
送信者(from)が		を含む	
受信者(to、cc)が		を含まない	
件名(subject)が		と一致する	
本文(body)が		と一致しない	
メールヘッダー(header)が		存在する	
メールサイズが		存在しない	

新規条件の追加

条件の設定画面は選択したメニューにより、3つのパターンに変化します。

パターン1：「送信者(from)、受信者(to、cc)、件名(Subject)、本文(body)が」を選択した場合。

(1) (2) (3)

送信者(from)が		を含む	条件の削除
送信者(from)が		を含む	
受信者(to、cc)が		を含まない	
件名(subject)が		と一致する	
本文(body)が		と一致しない	
		存在する	
		存在しない	

(1)	送信者(from)が	条件にメールの送信者(from)を指定する場合に選択します。
	受信者(to、cc)	条件にメールの受信者(to、cc)を指定する場合に選択します。
	件名(Subject)	条件にメールの件名(Subject)を指定する場合に選択します。
	本文(body)	条件にメール本文(body)を指定する場合に選択します。
(2)		条件となる、メールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)を入力します。
(3)	を含む	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が含まれている場合に動作します。 含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が一致する場合に動作します。 一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。 例えば、『Fromが』『sample@tvt.ne.jp』と『一致する』という設定をしても、実際に送られて来たメールヘッダのFromが、『”TVT サンプル”<sample@tvt.ne.jp>』となっている場合には、一致とは判定されない為、フィルター設定は動作しません。
	と一致しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が一致しない場合に動作します。

存在する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が存在する場合に動作します。 存在する/しないは、header情報の有無を確認する項目となります。 例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」のヘッダが存在するかしないかを判断します。 『本文 (body)』設定はメールヘッダに『body:』というヘッダがそもそも存在しない為、設定しても動作いたしません。
存在しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が存在しない場合に動作します。

パターン2：「メールヘッダー(header)が」を選択した場合。

(1)	メールヘッダー (header)が	条件にメールヘッダー(header)を指定する場合に選択します。
(2)	条件となる、headerを入力します。headerはメール画面から確認できます。 【入力例】From(送信者)が、sample01@tvt.ne.jpを含む場合 この場合は「From」と入力します。 メールヘッダー(header)が From sample01@tvt.ne.jp を含む 条件の削除	
(3)	(2)で入力したheaderの詳細条件を入力します。 【入力例】From(差出人)が、sample01@tvt.ne.jpを含む場合 この場合は「sample01@tvt.ne.jp」と入力します。 メールヘッダー(header)が From sample01.tvt.ne.jp を含む 条件の削除	
(4)	を含む	(2)と(3)で入力した、header情報が含まれている場合に動作します。 含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)と(3)で入力したheader情報が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)と(3)で入力したheader情報が一致する場合に動作します。 一致する/しないは、完全一致を意味します。
	と一致しない	(2)と(3)で入力したheader情報のいずれかが一致しない場合に動作します。

存在する	<p>入力したheader情報が存在する場合に動作します。 存在する/しないは、header情報の有無を確認する項目となります。 例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」等のヘッダが存在するかしないかを判断します。 こちらの項目を選択した際には項目が変化します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> メールヘッダー(header)が <input type="text"/> </div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> <input type="button" value="存在する"/> <input type="button" value="存在しない"/> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"><input type="button" value="条件の削除"/></div>
存在しない	<p>入力したheader情報が存在しない場合に動作します。</p>

パターン3:「メールサイズが」を選択した場合。

(1) (2) (3)

メールサイズが

バイト
 KB
 MB
 GB

(1)	メールサイズが	条件にメールサイズを指定する場合に選択します。
(2)	(3)で選択する単位に応じた数値を入力します。	
(3)	メールサイズの単位を選択します。 バイト~GB、設定した数値以上 / 以下の設定が行えます。	

(3)設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

迷惑メールフィルター ON OFF ON/OFF切替機能 許可

フィルター強度

ブラックリスト 下記の入力された条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダへ隔離されます。

送信者(from)が	sample01@tv.t.ne.jp	を含む	条件の削除
<input type="button" value="新規条件の追加"/>			

ホワイトリスト 下記の入力された条件に一致するメールは、迷惑メールフォルダより優先して、迷惑メールとして処理されます。

件名(subject)が	重要	を含む	条件の削除
送信者(from)が	sample02@tv.t.ne.jp	を含む	条件の削除
<input type="button" value="新規条件の追加"/>			

ユーザーフィルターの判別 許可 利用を許可しない

ユーザーフィルター 現在は何も設定されていません。

ユーザーフィルター設定

受信したメールの仕分けルールを作成する機能です。

The screenshot shows the 'ごんごネット' (Gongonetto) user settings page. The user is identified as 'gongonetto' with email 'gongonetto@mx1.ftsc-demo.jp'. The page is divided into sections for account information, mailbox settings, and filtering. A red box highlights the '迷感メールフィルター' (Spam Filter) section, which is currently turned ON. Below it is a 'フィルター強度' (Filter Strength) slider set to 55%. The 'ユーザーフィルター' (User Filter) section shows '現在は何も設定されていません。' (No filters are currently set) and a '新規フィルターの追加' (Add New Filter) button. At the bottom, there are '保存する' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

受信したメールの送信者や件名、サイズなど複合的な詳細な条件を元に、転送、バケーションメールの他にメールの移動、コピー、破棄、削除など複数の処理が設定可能です。

ユーザーフィルターが適用されるには、迷惑メールフィルターを通過している(SPAM判定されていない)必要があります。

The screenshot shows the '迷惑メールフィルター' (Spam Filter) settings page. The '迷感メールフィルター' (Spam Filter) is turned ON. Below it is a 'フィルター強度' (Filter Strength) slider set to 55%. There are sections for 'ブラックリスト' (Blacklist) and 'ホワイトリスト' (Whitelist), each with a '新規条件の追加' (Add New Condition) button. The 'ユーザーフィルター' (User Filter) section is highlighted with a red box, showing '現在は何も設定されていません。' (No filters are currently set) and a '新規フィルターの追加' (Add New Filter) button.

新規フィルターの追加

(1)ユーザーフィルター項目にある、[新規フィルターの追加]ボタンをクリックします。ユーザーフィルターの新規作成画面が表示されます。

The screenshot shows the 'ユーザーフィルター' (User Filter) settings page. The 'ユーザーフィルター' (User Filter) section shows '現在は何も設定されていません。' (No filters are currently set) and a '新規フィルターの追加' (Add New Filter) button highlighted with a red box.

(2) フィルターの名前欄に、任意のフィルター名を入力します。

フィルターの名前

(3) ルールの適用条件を設定します。新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

ルールの適用条件 (1) 以下のルールのいずれかに一致 以下のルールの全てに一致 全てのメールに適用

送信者 (from)が を含む

送信者 (from)が
受信者 (to, cc)が
件名 (subject)が
本文 (body)が
メールヘッダー (header)が
メールサイズが

(2)

を含む
含まない
と一致する
と一致しない
存在する
存在しない

新規条件の追加

(1)	以下のルールのいずれかに一致	設定した条件のいずれかに一致した場合に、処理が実行されます。 (or条件の指定になります)
	以下のルールの全てに一致	設定した条件の全てに一致した場合に、処理が実行されます。 (and条件の指定になります)
	全てのメールに適用	全てのメールで処理が実行されます。 (こちらを選択すると、適用条件設定項目が非表示となり、受信した全てのメールに処理が適用されます。)
(2)	適用条件設定項目はブラックリスト/ホワイトリストと同じ仕様となります。 設定の詳細についてはP28～P29をご参照ください。	

(4) 設定したルールの適用時間を設定します。

「常時」または「時間指定」にチェックを入れて0～23時の間で時間を指定します。

時間指定の場合は、終了時刻を開始時刻より大きい数字で設定してください。

ルールの適用時間 常時 時間指定 0 時台 ~ 0 時台までの間 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい。)

※ [9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。
※ 21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時～23時のフィルタと0時～8時のフィルタを2つ設定して下さい。

[9]時台～[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒～17時59分59秒までが対象時間となります。

21時台～8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時～23時のフィルターと0時～8時のフィルターを2つ設定して下さい。

(5)実行する処理の内容を設定します。処理の設定は、複数設定する事が可能となっております。新しく条件を追加するには、[新規条件の追加]、または[追加]ボタン、設定した条件を削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。

実行する処理の内容 上記の適用条件と適用時間に合致したメールの処理内容を設定します。

<ul style="list-style-type: none"> 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) メールを破棄する パケーションメールを送信する メールを削除する ルール評価を停止する 	<ul style="list-style-type: none"> 迷惑メール 迷惑メール 受信トレイ 	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>
--	---	---

実行する処理の内容画面は、選択したメニューにより、5つのパターンに変化します。

パターン1：次のフォルダにメールを移動する、次のフォルダにメールをコピーする

(1) (2)

<ul style="list-style-type: none"> 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 	<ul style="list-style-type: none"> 受信トレイ 受信トレイ 下書き 送信済みアイテム 迷惑メール ごみ箱 保存フォルダー 	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>
--	--	---

(1)	<ul style="list-style-type: none"> 次のフォルダにメールを移動する 次のフォルダにメールをコピーする 	<ul style="list-style-type: none"> 条件に該当したメールを指定したフォルダに移動します。 条件に該当したメールを指定したフォルダにコピーします。
(2)	<p>選択したフォルダに(1)で設定した処理が実行されます。</p> <p>初期フォルダは、ウェブメールにログインした際に自動作成されます。</p> <p>初期フォルダには「受信トレイ」「下書き」「送信済みアイテム」「迷惑メール」「ごみ箱」「保存フォルダ」の6つのフォルダがありますが、ユーザーが自分で作成したフォルダがある場合はこの一覧に表示されます。</p>	

パターン2：次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない / 残す)

(1) (2)

<ul style="list-style-type: none"> 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない) 次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す) 	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>
---	---

(1)	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残さない)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールはサーバーから削除します。 転送したメールはごみ箱には入らず、サーバーから削除 されますのでご注意ください。
	次のアドレスにメールを転送する (転送後サーバーに残す)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールをサーバーに残す設定です
(2)	転送するメールの送り先のメールアドレスを入力します。	

パターン 3 : メールを破棄する

(1) (2)

(1)	メールを破棄する	条件に該当したメールはサーバーから削除され、サーバーから差出人に送信不能の旨のメッセージが送信されます。 メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。
(2)	<p>差出人に対して送信するメッセージを入力します。未入力でも問題ありません。</p> <p>差出人に送信されるメールのサンプル</p> <p>差出人: Mail Delivery Subsystem <postmaster@SiriusCloud.jp> 宛先:</p> <p>件名: Automatically rejected mail 日時: Wed, 02 May 2012 16:04:26 +0900</p> <hr/> <p>Your message to < aonao@mx1.tvt.neip > was automatically rejected:</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>この部分に(2)で設定したメッセージが表示されます。</p> </div>	

パターン 4 : パケーションメールを送信する

(1) バケーションメールを送信する

(2) 本文
 件名
 受信者
 mailbox@SiriusCloud.
 返送禁止期間 [] 日

(1)	バケーションメールを送信する	条件に該当したメールにバケーションメールを送信します。バケーションメールは、休暇中などのメール返信が出来ない期間に、設定したメッセージを自動返信する機能です。
(2)	本文	自動返信するメールの本文を入力します。
	件名	自動返信するメールの件名を入力します。 件名は半角70文字、全角15文字以内の入力制限があります。
	受信者	メールアドレスを入力します。 入力したメールアドレス宛てのメールを受信した際にバケーションメールが送信されます。
	返送禁止期間	1度送った相手に再送を行わないよう期間を設定します。1～90日の間で半角の数字を入力します。

パターン5：メールを削除する、ルール評価を停止する

メールを削除する

メールを削除する
 ルール評価を停止する

追加 削除

<p>メールを削除する</p>	<p>条件に該当したメールをサーバーから削除します。 メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。</p>
<p>ルール評価を停止する</p>	<p>複数のフィルター設定がある場合、上から順に適用されますが、ルール評価の停止ルールに合致したメールには、それ以下のフィルターの設定は実行されなくなります。</p> <p>【設定例】 下図のようにユーザーフィルターを3つ設定している場合にユーザーフィルター2で『ルール評価を停止する』を設定していると、以後のユーザーフィルター3が実行されなくなります。</p> <p style="text-align: center;">ユーザーフィルター2に『ルール評価を停止する』設定がある場合。</p> <p style="text-align: center;">『ルール評価停止』のフィルター設定以下はフィルター設定が実行されません。</p>

(6)設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。



ユーザーフィルターの適用順の変更

ユーザーフィルターは、上から順番に適用されます。
優先順位は、ユーザーフィルター画面右端の「優先度を上げる」、「優先度を下げる」で操作します。優先度を上げる場合は、該当フィルター名の「優先度を上げる」、下げる場合は、該当フィルター名の「優先度を下げる」をクリックします。

『ルール評価を停止する』が設定されていると、そのフィルター以下の設定は適用されませんのでご注意ください。

設定後、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター2	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター3	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる

ユーザーフィルターの編集と削除

設定したフィルター設定を編集したい場合は、該当フィルターの[編集する]ボタンをクリックします。

不要なフィルター設定を削除したい場合は、該当のフィルターの[削除する]ボタンをクリックし、画面最下部にある[保存する]ボタンをクリックします。

[保存する]ボタンをクリックしないと、削除されませんのでご注意ください。

フィルター名	フィルターの編集/削除	フィルターの適用順の変更
ユーザーフィルター1	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター2	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる
ユーザーフィルター3	<input type="button" value="編集する"/> <input type="button" value="削除する"/>	優先度を上げる 優先度を下げる

Myホームページ

「Myホームページ」タブをクリックする事で、ウェブサービスの設定画面が表示されます。
弊社とウェブサービスのご契約を頂いている場合に、「Myホームページ」タブが表示されます。

Myホームページ画面構成

Myホームページ画面では、設定変更可能な「ウェブアカウント一覧」が表示されます。



FTPアカウント	割り当てられているウェブアカウントが表示されます。実際にFTPサーバーに接続する場合はこの「FTPアカウント」で接続します。
区分	ウェブアカウントの区分が、「メイン」と「追加」の二種類で表示されます。 gongonetでは原則として「メイン」のアカウントのみウェブアカウント登録可となっています。「追加」アカウントでウェブアカウントをご希望の場合はテレビ津山までご相談下さい。
状態	ウェブアカウントのステータスが「有効」と「停止中」の2種類で表示されます。アカウントを停止した場合「停止中」となります。
登録日	ウェブアカウントの登録日時が、表示されます。
操作	[編集する]ボタンを押すと、アカウントの詳細設定の確認や変更画面が開きます。

アカウント詳細/設定

(1)設定の確認や変更を行いたいFTPアカウントの[編集する]ボタンをクリックします。

FTPアカウント	区分	状態	登録日	操作
gongo@www3.tvt.sc-demo.jp	メイン	有効	2015-03-18 17:12:55	<input type="button" value="編集する"/>

1件 - 1件 / 全1件

(2)「アカウント詳細/設定」画面は、以下の構成になっています。

FTPアカウント	現在の操作対象のFTPアカウントを表示します。
区分	ウェブアカウントの区分が、「メイン」と「追加」の二種類で表示されます。
ウェブサイトURL	アカウントに割り当てられているウェブサイトのURLが表示されます。
ディスクサイズ	アカウントに割り当てられているディスクサイズが表示されます。
使用率	現在のディスク使用率を数字とグラフで表示します。
状態	アカウントのステータスが「有効」と「停止中」の2種類で表示されます。
FTPサーバー(ホスト名)	FTP接続する際のサーバーアドレスが表示されます。
アクセスカウンター設定	[アクセスカウンター設定]ボタンを押すと、JavaScript(テキスト)と画像形式が選択できる簡易アクセスカウンターの設定ができます。
フォームメール	[設置方法]ボタンを押すと、問い合わせフォーム(メール送信CGI)の解説ページが表示されます。

アクセスカウンター設定

アクセスカウンターをウェブサイトに設置する事で訪問者数のカウントが行えます。
JavaScriptカウンターと画像カウンターとの2種類のカウンターを用意しております。

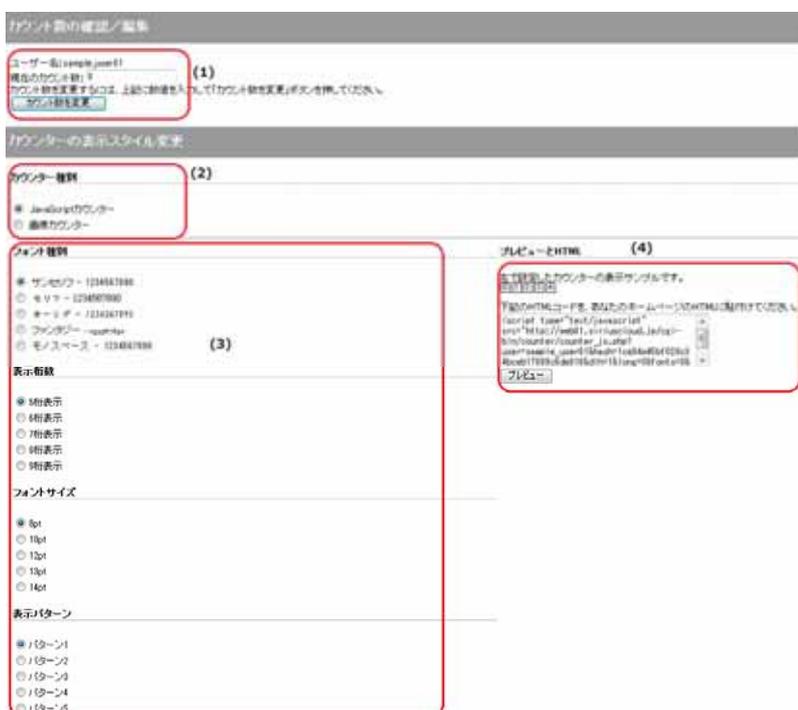
(1)アカウント詳細/設定画面の[アクセスカウンター設定]のボタンをクリックします。

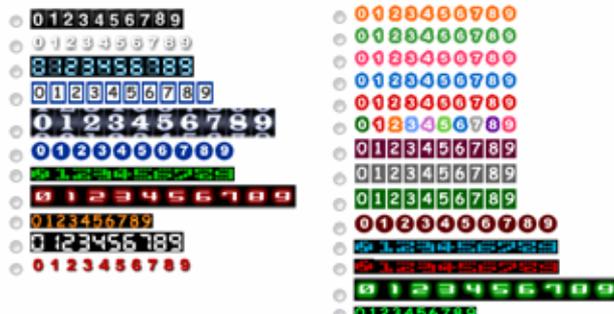


(2)別ウィンドウで、アクセスカウンター生成エンジンが表示されます。

設置するカウンター種別、フォント設定等を設定します。

画面は、以下の4つの部分から構成されています。(下図はJavaScriptカウンターの例となります。)



(1)	カウント数の確認/編集	現在のカウント数が表示されています。 任意の数値を入力し、[カウント数の変更]ボタンを押す事で カウント数を変更する事も可能です。
(2)	カウンター種別	JavaScript、画像カウンターを選択します。
(3)	表示設定	<p>フォントや、桁数、パターンの設定画面が表示されます。 カウンター種別で「画像カウンター」を選択した場合は、画像一 覧から選択したカウンターが表示されます。</p> <p>画像一覧</p> 
(4)	プレビューとHTML	(2)と(3)で選択したカウンター設定のプレビューとHTMLコ ードが表示されます。

(3)カウンターを設置したいWEBページの任意の場所に、(4)のボックス内に表示されたHTMLコードをコピー、貼り付けする事で、アクセスカウンターが表示されます。

フォームメール

フォーム設置に必要な説明とサンプルコードが記載されたページが表示されます。

(1)アカウント詳細/設定画面の[設置方法]のボタンをクリックします。

FTPアカウント	gongo
区分	メイン
ウェブサイトURL	http://www3.tvt.sc-demo.jp/~gongo/
ディスクサイズ	100MB
使用率	4KB <input type="text" value="0"/> 0%
状態	有効
FTPサーバー(ホスト名)	ftp2.tvt.sc-demo.jp
アクセスカウンター 設定	<input type="button" value="アクセスカウンター設定"/>
フォームメール	<input type="button" value="設置方法"/>

(2)フォーム設置に必要な説明と、サンプルコードが記載されたページが表示されます。

■■■フォーム 設置方法■■■

ホームページ上で必要事項を入力して、送信ボタンで一発送信！
指定のメールアドレスへ、簡単に送信できるフォームの設置方法です。

(下の画像は、フォームの一例です)

名前:
メールアドレス:
タイトル:
コメント:

<<< フォーム 設置の手順 >>>

1) まずHTMLで、フォームの骨組みを記述します。

例) 上記のフォーム例をタグで記述したものが、以下のHTMLです。
(便宜上、行頭に#番号をふっていますが、ファイルを作成する際は「#01」などの番号は不要となります。)

```
#01 <form name="form1" method="post" action="http://web01.SiriusCloud.jp/cgi-bin/mailform/mail.cgi">
#02 <input type="hidden" name="mailto" value="user_name@SiriusCloud.jp">
#03 <input type="hidden" name="title" value="サービス紹介ページ">
#04 <input type="hidden" name="subject" value="サービスのお問い合わせ">
#05 <input type="hidden" name="required" value="お名前">
#06 <input type="hidden" name="url" value="http://web01.SiriusCloud.jp/user_name/thankyou.html">
#07 名前:<input type="text" name="お名前"><br>
#08 メールアドレス:<input type="text" name="メールアドレス"><br>
#09 タイトル:<input type="text" name="タイトル"><br>
#10 コメント:<textarea name="コメント" cols="50"></textarea><br>
#11 <input type="submit" value="送信">
#12 </form>
```

2) では、一行ずつ内容を見ていきましょう。